

平成26年度第3回中原区区民会議

日時 平成27年1月22日（木）14：00～

場所 中原区役所5階 502・503会議室

1 開催日時 平成27年1月22日（木）午後2時～3時53分

2 開催場所 中原区役所5階 502・503会議室

3 出席者

（委員）板倉委員長、橋本副委員長、成田副委員長、石川委員、梅原委員、尾木委員、梶川委員、園部委員、反町委員、田中委員、塚本委員、長尾委員、仲亀委員、中森委員、仁上委員、萩原委員、松本委員、山崎委員

（参与）大庭参与、押本参与、松川参与、松原参与

（事務局）鈴木区長、小野副区長、今井課長、岩瀬担当部長、稲葉部長、大塚所長、蛭名副所長、高岡担当課長（こども支援室長代理）、鈴木所長、八木課長

企画課：江口係長、倉見係長、大崎職員、野並職員、西山職員

4 議 題 （1）第1・2回課題調査部会及び第2回運営部会報告（公開）

（2）審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」の審議経過について（公開）

（3）その他（公開）

5 傍聴者 2名

6 会議内容

午後2時 開 会

1 開会

司会 皆さん、こんにちは。定刻になりましたので、ただいまから第5期第3回中原区区民会議を開催いたします。私は、本日の会議の議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます副区長の小野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は過半数の委員に御出席をいただいておりますので、川崎市区民会議条例第6条第2項の規定によりまして、本会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。なお、本日の会議は会議公開条例に基づき公開で行われます。また、会議録を作成し、公開することとなりますので御了解いただきたいと存じます。

それから、本日、松澤委員につきましては、所用により欠席との御連絡をいただいております。そして、井上委員ですが、若干遅れているようでございます。続きまして参与ですが、市古参与、原参与、東参与、吉岡参与、滝田参与につきましては、所用により欠席との御連絡をいただいております。あと若干遅れている参与の方もいらっしゃるかと思います。

それでは、中原区長の鈴木より御挨拶申し上げます。

区長 皆さん、こんにちは。中原区長の鈴木でございます。寒いところ、またお忙しい中、本日もお集まりいただきましてありがとうございます。私ごとですが、少し油断して

しまい、昨日から風邪をひいてのどの調子が悪いのですが、委員の皆様にあられましては、ぜひ御自愛いただいて、健やかに過ごしていただきたいと存じます。

また、この区民会議も年明けは、本日初めて開催されたということでございますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

また、それぞれの議題については、これまでの経過を踏まえて積み上げていくということで、本日の会議におかれましても、熱心な御議論を期待しているところでございます。私ども市役所、区役所の事情で申し上げますと、この時期は、ちょうど来年度の予算編成について、最後の市長査定を受けている最中でして、区役所については、今週月曜日に市長の前で査定を受けた状況でございます。

この間、いろんな新聞などでもよくお耳にしていると思いますが、川崎市の福田市長はスクラップ・アンド・ビルドという言葉を使いまして、事業の見直しと立て直しということで取り組むということで話がありましたが、改めて今週の予算査定の中で、私ども区役所全体に対して言っていたことで、もちろん区役所だけではなく市役所もだと思いますけれども、事業をすること自体が目的化しているものはないかといったようなことを言われておりました。事業をするというのは、そもそもはある効果を狙って、ないしはある対象をしっかりとめて目的を持ってやるべきことであるはずだと。ところが、場合によっては、特に継続型でやっている事業は特にそうなんですけれども、事業をやるということだけが目的化していて、何のために始めた事業だったか忘れている面はないかというようなことで投げかけられております。

また、もう1つ言われたのは、何か事業をやってしっかり効果が出ているのかという、いわゆる効果測定をきっちりやるようにということです。ですから、ビフォー、アフターといえますか、やる前はこうだったけれども、やったことによってあるものがよくなったとか、そういうことをしっかり見極めながら職員は取り組むようにと言われました。

私たち公務員は、割と積み重ねでやっていく事業が多かったり、非常に長期にわたって取り組む事業が多いものですから、そういうことを時々忘れがちという中で、この区民会議という形の中で皆様に御議論いただくということは我々にとって大変刺激になっております。皆様方の日頃の地域の課題認識などがここで議論されることによりまして、私どもの事業について、ここで議論されたこと以外にも及んで区政の推進ないしは刷新に役立てていきたいと考えております。

本日は、大変お忙しいところお集まりいただきましたので、効率的な議論が進むように私どももサポートしたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。一言御挨拶させていただきます。

司会 それでは続きまして、事務局から本日の資料の確認をさせていただきます。事務局、よろしく願いいたします。

事務局 それでは、本日のお手元の資料を確認させていただきます。クリップでとまって

おりますので、よろしければ外して御確認いただければと存じます。

まず1枚目、本日の第3回中原区区民会議の次第がございます。

1枚おめくりいただきまして、別添1、本日の席次表をつけております。次に、別添2、委員及び参与名簿でございます。

おめくりいただきまして、資料1、A3版の1枚の資料ですけれども、課題調査部会・運営部会における審議経過（主な意見のまとめ）でございます。

資料2、課題解決に資する取組の提案に向けてというA4版の1枚の資料でございます。

資料3、課題解決に資する提案のまとめ（経過報告）でございます。1枚目がA3版、次のページにA4版で1枚、資料がございます。

資料4、第5期中原区区民会議スケジュール（案）でございます。A3版で1枚の資料でございます。

続きまして、参考資料1-1、第1回課題調査部会会議録でございます。左側に2か所、ホチキスでとめているものでございます。

参考資料1-2、第2回課題調査部会会議録でございます。こちらホチキスで2か所とめてございます。

参考資料2、第2回運営部会会議録（案）でございます。こちら左側をホチキスで2か所とめております。

参考資料3、区民会議交流会への出席についての御案内の資料でございます。A4版で左上にホチキスで1か所とめている資料でございます。

参考資料4、平成26年度第1回かわさき市民アンケート概要版でございます。左上にホチキスでとめているものでございます。

参考資料5、「なかはら区民会議だより」第23号で、先日本配りしているものになりますけれども、改めて添付させていただきました。

続きまして、区民会議の資料ではございませんけれども、中原工場協会の取組として御紹介させていただく資料として1枚つけさせていただいているものがございます。「すべての女性が輝く社会づくり」というチラシでございます。工場協会の取組ということで、後ほど萩原委員から簡単に御説明いただければと存じますので、よろしく願いいたします。

最後に、川崎市総合企画局で所管する協働・連携のあり方検討委員会の「かわさき協働通信」を添付させていただきました。部数の関係で委員の方のみの配付とさせていただいております。参与の皆様には、恐縮ですけれども、コピーを参考までに御用意しておりますので、後ほど御参照いただければと存じます。

資料の説明は以上でございます。

司会 ただいま事務局から資料等について御確認をさせていただきましたが、過不足等、

いかがでございましょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ここからの進行は委員長にお任せしたいと存じます。委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

2 会議録確認委員の選任

板倉委員長 それでは、ここからの議事は私が進行させていただきます。おくれればながら、本年もひとつよろしくお願いしたいと思います。

今、「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」というテーマを検討しているわけですが、きれいにと言いますと、どうしても、ごみとか、缶、瓶、たばこのポイ捨て、集積所とか、ごみの問題が非常に多くとといいますか、すぐ頭の中に浮かんでくる。このほかにちょっと視点を変えて、中原区の風景の美しさとか、区の木になりましたモモとか、桜並木、緑の散歩道とか、パンジーのあるまちとか、それから落書きのないまち、子どもたち、挨拶とか言葉を交わすことによる心の美しさ、こんなことを考えながら少しずつ見つけていってほしいと思っています。

ただ、これをまともにやりますと非常に広くなってしまうので、これからの審議の中で整理をさせていただきたい、また整理をしていただきたいと思います。

それでは、まず会議録確認委員の選任をさせていただきます。前回は萩原委員と松澤委員にお願いいたしましたので、続きまして、名簿の順ということで恐縮ですが、中森委員と仁上委員にお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。よろしくお願いいたします。

3 議題

(1) 第1・2回課題調査部会及び第2回運営部会報告

(2) 審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」の審議経過について

板倉委員長 では、議題の審議を進めてまいります。

まず初めに、第1回、第2回の課題部会の報告と第2回の運営部会の報告をしていただきまして、それを受けて、先ほど申し上げましたように、審議テーマとして「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」に向けた取組の審議を進めていきたいと思っています。

課題調査部会は11月6日、12月8日の2回にわたって審議を行っております。その中で非常に熱心な御討議をいただいております。本日それぞれの説明があるんですが、これは資料の内容が非常に多いので、皆さんの頭の中で整理をしながら進めていっていただきたいと思います。

それでは、課題調査部会の報告を成田副委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

成田副委員長 それでは御報告させていただきます。平成26年11月6日及び12月8日に、第1回また第2回課題調査部会を開催いたしました。課題調査部会は8名となっておりますが、毎回1名ずつ欠席のため、各回とも7名による審議となっております。各会議の詳細な審議内容につきましては、参考資料1-1及び1-2の会議録でそれぞれ御確認いただけますので御承知ください。

第1回目の部会で、冒頭、部会長、副部会長の選任を行い、私、成田が部会長に、また松本委員が副部会長に選任されました。

それでは、早速資料1を御覧ください。まず、11月6日に開催された第1回の部会において、中原区区民会議課題調査部会要領に基づいて課題調査部会の役割などを確認し、区民会議としての成果につながる提案、また取組を検討するために、部会の全4回の進め方や今後のスケジュールを確認いたしました。

次に、これまで開催されました準備会議、第1回、第2回区民会議及び第1回運営部会で出された審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」に関連する全委員の意見の整理を行いました。それを踏まえ、課題と現状の把握、情報共有を行い、目標の設定、狙い、ターゲットの絞り込みに向けて、第1回目の審議を行いました。

その審議の内容についてまとめたものが、資料1の上段左側になります。

まず、目標設定ですが、わかりやすさとインパクト、多様な区民が取り組める目標であること、メッセージの発信と仕組み、取組の継続性があること、活動の上で共通の目標があること。

次に、ターゲットとなる対象ですが、地域の不動産業者やコンビニ、企業など。2番目に子ども。こちらは親とともに参加することで親や家族も含めて対象者をふやすということにもなっております。また、町内会や学校、PTAなどへの浸透。地域、イベントへの非参加者は、特に単身の若い世代に向けての対象を考えております。さらに、集積所のルールを守らない方、あるいは守れない方という今まで発掘できていない部分についても対象と決めました。

この2つに基づいて、7項目にわたる課題が挙げられました。こちらの各課題については時間の関係上、目を通していただけるとありがたいと思います。

そこからさらに発展しまして、発展・強化したい既存の取組や新たな取組、11項目を確認いたしました。こちらも同様に目を通していただけるとありがたいと思います。

この第1回部会の審議における部会の委員の意見をまとめた結果、取組提案検討の方向性として、①啓発・ルールづくり、意識改革の取組、②学校と地域、環境教育の取組、③イベント・キャンペーン・周知の取組におおむね分けて、さらに議論し、審議していくことを確認いたしました。

次の12月8日に開催されました第2回部会においては、第1回の議論を発展させていくための現状把握の補強となる審議を行いました。併せて、川崎市環境局廃棄物政策担当の

担当係長様より、市の廃棄物行政における課題や取組の状況について説明をしていただき、引き続き、課題解決に向けた取組、提案などの検討を行いました。

その結果、資料1の下段左側から、提案検討のポイントとして、まず、子どもを通じた働きかけをすること、わかりやすい、実行しやすい啓発、地域一帯で取り組むこと、達成目標を設定すること、中原区の地域資源を生かすことなどを定め、取組のアイデアとして、モデル集積所の創設、子ども向け人形劇での啓発を行う取組など8つに分類し、数多くのアイデアが提案されました。

部会では、そのほか委員から数々の意見が出されたことをもとにして、委員各自ごとに意見をまとめていただき、具体性を持った提案としていくため、5W1H式のシートに記載してそれぞれ意見を提出していただきました。それについてまとめた資料は資料3となっておりますが、この内容につきましては、この後、引き続き説明がありますので、後ほど御覧いただきたいと思います。

今後、第3回部会の審議において、課題解決に向けた取組、提案などの検討を推し進め、取組内容、担い手、役割分担、進め方などについての集約を行い、第4回部会における最終取りまとめへと続いていく予定ですが、1月9日に開催されました運営部会では、これまでの2回の課題調査部会における審議内容についての御意見をいただき、今後の部会における取組や議論の方向性について、本日の全体会議でどのような議論をしていただくかといった観点からも御意見をいただきました。したがって、本日の会議の審議におかれましても、今後の部会の審議を進めていく上で、議論の焦点や視点をどこに置くかということについて、多様な角度からの御意見や御提案をいただければと存じます。

以上で課題調査部会の審議の報告を終わらせていただきます。ありがとうございます。
板倉委員長 ありがとうございます。

続きまして、1月9日に開催しました第2回運営部会の議事内容について、運営部会の副会長である槁本副委員長から御報告をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

槁本副委員長 それでは、1月9日金曜日、委員6名の出席のもとで運営部会を開催いたしましたので、その報告をさせていただきます。まず、課題調査部会の審議経過を報告していただき、調査内容を確認いたしました。会議の詳細な審議内容は参考資料2の会議録（案）で御確認いただけます。先ほど成田副委員長からの報告にございましたように、課題調査部会では具体的な課題や取組などについての議論が行われましたので、運営部会では、課題調査部会における審議経過を踏まえ、今後の審議の方向性について、どのように全体会議で審議していくかということを検討させていただきました。

それでは、ただいま見ていただきました資料1の課題調査部会・運営部会における審議経過（主な意見のまとめ）の右側を御覧になっていただきたいと思います。こちらは、第1回、第2回課題調査部会で検討していただいた際の主な意見をもとにしまして、さらに

運営部会の審議において発言いただいた御意見などを加えまして、審議経過をお示ししたものでございます。

運営部会においても、先ほどのように、まず成田委員から御報告をいただきました。課題調査部会の審議内容を踏まえた上で、運営部会では本日の全体会議で委員の皆様は何を議論していただくのかについて話し合いました。とりわけ、審議の視点や方向性についてはどうであろうか。例えば不足している視点や考慮すべき事項はないか、また意見の整理や提案の絞り込みに向けたポイントとは何かなどについて議論していただくことが必要ではないかということを重点的に審議いたしました。

特に提案の具体化に向けて、資料１に基本的な確認事項としてまとめていますように、今回の検討テーマである「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」を再確認するという視点から議論いたしました。

中でも、まちをきれいにの視点について、課題調査部会では、ごみに関する事項以外の検討があまり深まらなかったようだということから、これまでの準備会議からの委員の意見を踏まえまして、もう少し幅広く捉えることが望ましいという意見がありました。それに対しまして、資料１のその他の意見にありますように、取り組みやすい、成果がわかりやすいという視点から、ごみ問題の取組等に絞り込むべきだとの意見もありました。そのほかに、これまで第３期、第４期の取組として開催した子育てふれあいカフェと連携してはどうかというような意見もありました。

また、課題調査部会を主体として既存の取組や課題等の実態把握を目的としたアンケート調査を、団体や企業等を対象に実施したいとの意見もありました。さらに、保育園児や幼稚園児、小中学生などから、「まちをきれいに」を題材としました絵や写真などの作品を募集して表彰するコンテストや作品展を開いたらどうかというような意見もございました。このような審議を踏まえて経過報告をまとめておりますので、この点については後ほど事務局から説明をしていただきます。

今後、引き続き第３回、第４回の課題調査部会において、具体的に取組や提案についての審議をいただき、３月にはおおむね取組や提案内容を決定していくこととなりますので、本日は“今後の議論の方向性や視点”について、また、区民会議の提案する取組として、さらに実現性や実行する効果を高めるアイデアや手法などについて、皆様からアドバイスや御意見をいただき、今後の課題調査部会でさらに深い審議を進めていただきたいと思います。

私からの説明は以上でございます。ありがとうございました。

板倉委員長　ありがとうございました。運営部会の報告をさせていただきました。

続きまして、これまでの審議状況を踏まえた取組案などを経過報告資料ということで資料３にまとめてございます。運営部会においては、課題調査部会の審議状況を材料として、本日の第３回本会議において何を重点的に審議していただくかという視点、方向につ

いても、非常に話が大きくなっていますので、これも考えてございます。そして、視点ということで、資料２に審議のポイントということでまとめてございます。

それでは、資料２及び資料３に関しまして、事務局から説明をお願いしたいと思えます。よろしくお願いします。

事務局 それでは、資料２、課題解決に資する取組の提案に向けてについて、説明をさせていただきます。

まず、項目の１でございますが、課題調査部会の意見、運営部会の意見に基づきまして、類似提案の一括化、複数提案の分割、成熟度やステージが異なる提案の整理を行うとともに、運営部会での意見等も踏まえた可能なものについては、ごみ問題関連にとどまらず対象を拡大するといった作業を行ってまいりました。その作業をまとめた資料が資料３でございます、これにつきましては後ほど説明をさせていただきます。

続きまして、項目２、審議の流れでございますが、今後の流れを確認させていただきたいと思えます。今回の会議では、先ほど成田委員、橋本委員からそれぞれ御報告をいただきました課題調査部会及び運営部会の調査審議内容について、今後の審議の方向性への御指摘、御意見をいただき、それを受けて、今後２回開催される課題調査部会で、課題解決に資する提案の絞り込み、まとめに入るという流れになります。

その上で、具体的にこの全体会議で何を確認、検討するかは、次の項目３、本会議での確認・検討事項を御覧いただきたいと思います。全体会議では、今後提案のまとめに入る課題調査部会への助言や提言、提案をいただきます。例えば審議の方向性について、不足している点や考慮すべき事項はないか、意見の整理や提案の絞り込みに向けたポイントは何か。また、取組としてさらに掘り下げていくためのアイデアや手法等もあれば御意見ををお願いしたいと思います。

その上で、当初の設定した検討テーマであります「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」に立ち返って検討していくことも重要かと思えます。「地域コミュニティ」では、さまざまな区民の交流や連携が進むような提案になっているか、中原区らしさや区の資源の活用、発揮されているような提案になっているか。「みんなで」では、取組の内容や目的、目指すものが分かりやすく明確かどうか、みんな、つまり多様な区民が参加しやすい形になっているかどうか。「まちをきれいに」をどのように捉えるのかも重要でございます。

課題調査部会では、ごみの問題に話題が集中した経緯がございましたが、運営部会では、既存の環境や里山の保全等の活動、心の美しさなども視野に入れてはどうかという意見も出てございました。これらを踏まえまして御意見をいただければと思えます。

これまで出された様々なアイデアや御指摘は、どれも貴重で意味あるものでございますが、１度に全てできるものではございません。課題解決の緊急性の高いもの、実現性や取組効果の高いもの、委員の関心が高いものなどの観点から提案を絞り込み、１つ１つ成果

を積み重ねていくことが重要と考えております。

なお、改めての確認事項でございますが、今後の課題調査部会の審議におきまして、取組提案の数は4つないし5つ程度に絞り込み、取組の期間は原則5期の期間内とすることを認識していただければと存じます。

続きまして、資料3を御覧いただきたいと思います。取組提案のまとめに向けて、経過報告、整理方法の一案としてまとめさせていただいた資料でございます。

左から、課題、課題解決の方向性、取組提案という形でまとめてございます。まず、一番上、議論の前提としまして、既存の活動団体の活動実態や課題・工夫の把握が必要と考えてございます。この課題について、現状調査等を行い、その実態や地域の資源、課題等を把握することで実践的な取組へつなげます。これらの取組は、他の取組への効果を一層高めるための手法、アプローチになるかと思えます。

取組提案としては、2つ挙げてございます。1つは、①の「きれいなまちづくり活動」アンケート調査でございます。既存の活動団体等に、アンケート調査等で活動の概要、課題や工夫等を伺うものです。もう1つの提案が、②の地域の優良箇所、課題箇所の把握（ベスト3、ワースト3）です。これのもとになっているのは、地域の課題箇所を町会等の地域団体に出してもらい、そこを重点的に取り組もうという御意見でございました。それに少しアレンジを加え、悪いところだけではなく、よいところも挙げてもらって、良い点をアピールや地域で守っていくことにつなげてはどうかと考えたところでございます。

続きまして、実践的な取組提案でございますが、③から⑪の取組が提案されております。課題は大きく3つに整理してございます。

まず、課題調査部会で多かったごみ問題に関する課題でございます。特に正しいごみ分別法や再資源化の効果がわかりにくいこと、ごみの分別意識の低い区民の存在などが課題として挙げられました。解決の方向性としては、楽しく学べる、体験できる場を創出する。子どもから大人まで多世代を幅広く取り組む、教育分野との連携などでございます。

具体的な取組としては、4つ挙げられております。まず、③ごみ分別検定・名人認定、仕分けの達人ゲームにつきましては、分かりにくいごみの分別や再資源化の効果を検定制度やゲーム形式で楽しみながら学ぶ仕掛けでございます。次に、④スポーツGOMI拾いは、ごみ拾いをイベント化、スポーツ化し、多世代で楽しく取り組み、成果を競うものでございます。次に、⑤モデル集積所は、集積所等で分別に関する表示や掲示を分かりやすくしたり、模範的な集積所の設置や展示をするものでございます。次に、⑥啓発人形劇は、既に実践されている「フロンターレ 毎日元気いっぱい!!推進事業」として、区内に所在する国内でも有数の人形劇団ひとみ座とフロンターレの連携事業で、人形劇で子どもたちに生活習慣を教えるものでございますが、これを美化・リサイクル版で展開してはどうかというものでございます。

次に、⑦から⑨の提案ですが、運営部会での今回のテーマであるきれいなまちづくりを

幅広く捉えたごみ問題以外の提案を含めていく必要があるのではないかという意見を受けまして、運営部会での意見、そして事務局でのアイデアを入れさせていただいた部分です。

多様な団体の活躍、連携の場を形成することで、地域意識を育みながら進めていきたいとの提案でございまして、⑦は、新しく決まりました区の木のものや、区の花のパンジーを活用して、既存の散歩道や緑、環境活動の連携から自然環境の保全、花壇活動等による景観づくりを進めていくという提案です。⑧の区民の心が美しいまちは、美しさを区民の内面からも捉え、例えば挨拶や声かけ運動、落書き消し等の既存の活動と連携していく提案です。⑨緑の愛護・運営管理組織の立ち上げの推進は、事務局提案で加筆させていただいたものでございますが、既存の公園や街路樹の維持管理におきましては、管理運営協議会や愛護会の制度に基づき、たくさんの区民の方に地域で地域の資源を守っていただいておりますが、まだ一部の資源においては組織化が進んでおらず、担い手があらわれていないのが現状でございます。そこで、組織化に向けた取組に新しい担い手として、区内企業との連携等を探っていったらどうかという提案でございます。

⑩、⑪は、既存の活動の認知向上に向けて、互いの情報やノウハウを共有することで活動を検証し、元気づけていく提案です。これらは課題調査部会での検討段階では、主に美化活動をターゲットに話が進められてきた部分であります、より対象を広く捉えることも可能ではないかと考えております。

⑩は、啓発表示、看板などの提案です。課題調査部会では、収集日の違う日に出されているごみ集積所などが問題提起されましたが、こうした区内の課題箇所、区内の守っていききたいきれいなもの、美しいものがある場所などに啓発表示を設置する提案です。デザインは公募としてはどうかなどのアイデアも出ております。⑪は、既存の活動団体の情報を見やすく楽しくまとめて情報発信や、頑張っている活動の表彰、キャンペーンとして展開していく際の標語やポスター、絵画、写真などの作品を募集するコンクールや作品展などの提案です。

最後に、全体の参加者を増やし、区全体で機運を高めていく取組として、⑫、⑬がございます。

⑫は、活動目標の設定です。取組を実践する上で参加する区民や団体の目的意識、共通のビジョンを持って力を合わせていくためには、明確な目標が必要との意見が出されております。⑬は、キャンペーン展開です。取組の体験、発表、実践の場をより多く区民の目に触れる場、参加できる場で展開する提案です。既存の区内のイベントや過去の区民会議の取組提案の実践の場と併せて開催することで広げていこうという意見も出されているところでございます。

資料３の説明は以上でございます。

資料３の後ろにアンケート用紙を添付してございます。こちらはアンケートの案という

ことで、アンケートの趣旨、それから裏面に質問事項が記載されてございます。まだ案でございますので、この内容の再検討といいたしうか、最終的に決定し、それからどのような団体に配付していくのか等につきましては課題調査部会で決めさせていただければと思います。

こちらからの説明は以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。今御報告いただいたように、対象の範囲が非常に広がっていて、課題調査部会、運営部会でもこれをまとめるのに大変苦労している状況でございます。今回の資料については、2月2日に第3回の課題調査部会がございますので、その審議の方向性とか視点について、資料2の3のあたりでそれぞれの視点を書いてもらってありますが、これを参考にして、今後の課題調査部会における審議の方向を決めていきたいと思っております。

それでは、これについて御意見、御質問はございますか。

それでは、こちらで指名させていただきます。初めに、運営部会、課題調査部会に参加していない方々をお願いしたいと思います。それでは、山崎さん、お願いしたいと思います。

山崎委員 2回にわたって大変多くのことを審議されていらっしゃるなという感想を持ちまして、ごみ問題に関しましては環境局のほうでもいろんなイベントをやったり、取組をしていらっしゃると思うので、できたら連携した形で進められたら、エコ関係についてはとてもいいのではないかと思いますし、向こうの審議会のようなものもあると思いますので、会議体の様子も少し調べながら進めていただけると、市民の参加もある会議体については大変有効じゃないかと思います。

それから、本当に多方面なので、1つずつ言っていると大変だということがありますので、どのように絞り込んでいくのかは、ちょっと後の方に、もう少しお時間がある方に御発言いただければと思います。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、長尾委員、お願いします。

長尾委員 本当にとても幅広い範囲のことで御審議されていて、どこからお話ししていいのか分かりませんが、私はPTA協議会から参加しておりますので、特に子どもたちへの働きかけということについて、お話しします。子どもというのはとても素直なので、きれいにしなければいけないと思うと本当に一生懸命掃除してくれますし、お花なんかもすごく好きな子が多いので、子どもに働きかけると自然に親のほうにも、お母さん、そんなんじゃないかなんだよというふうに教えてくれたりもしますので、非常に効果があるのではないかなと思います。

ただ、集積所のルールを守らない方の層は、多分独身のひとり暮らしの方なんかが多いんじゃないかと思いますが、そういう方に働きかけていくのは一番難しいのかなと感じました。

あまり幅広い範囲なので、ちょっとこれ以上は、すみません。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、仲亀委員、お願いしたいと思います。

仲亀委員 私の場合、視力障害がありますので、ごみは主人が出してくれています。自宅のすぐ横がごみの集積所になっておりまして、以前は非常にいろんな問題があつて、カラスが突ついたりとかといったことがありましたけれど、今はうち以外のいろいろな方が、月曜日は誰、火曜日は誰、木曜日は誰みたい、缶、生ごみと分かれて整理をしてくださっているということです。

私は視力障害があつて、出ていってもお手伝いをする事ができませんので、主人に何か外であった場合に私のほうへ言ってもらうようにしているのですが、主人は、ごみだけは、今日は生ごみとか、プラスチック系とか全部整理をして出してくれています。本当に申し訳ありませんが、私の場合、ごみの管轄に一切携わっていませんので、御近所のやっしてくださっている方たちにお会いすると、いつも申し訳ございません、ありがとうございますとお礼を申し上げると、いいのよなんて言ってくださっていますので、それで私の場合は甘えさせていただいております。申し訳ございません。

板倉委員長 それでは続きまして、田中委員、お願いいたします。

田中委員 私の感じたことですが、町会のほうは、当然どこもおやりになっていると思いますが、第4日曜日に定期的に清掃をやっております。これは役員が中心になりまして、あと老人会、それから一般の野球とかドッジボールをやっている子どもたち、このリーダーが出てきてやっています。

それから、これは前にもちょっとお話し申し上げたと思いますが、地域の美化というのはその場で見ただけではだめですし、長い目で見ていかないと継続できないという感じがするんです。うちの町会は、中学校の子どもを、前にも申し上げましたが、年に1回の半日使った正規の教育ですね。まちの中を、自分のまちをきれいに、見てもらう、こういうことを基本でやっていたわけです。これも1回とは言いながら、教わったことは、中学生ですのでよく理解できていると思いますし、非常に僕は効果的ではないかと思っています。

名称が変わってしまったようですが、川崎市の環境保全局というのがありまして、この中に自然環境課緑化推進係というのがありました。ここが緑化活動について非常に熱心にやっただき、中学校の現在の美化活動につながっていった1つです。私どもは昭和53年から活動し、既に昨年で34回連続で行っております。

その中の教育ですが、これがやっぱり大事だと思います。地域における中学校合同、美化緑化実践活動を通して中学生のあり方を学ぶということで、体験を重視して教育活動の実践化、それから基本的生活行動の習慣化、地域への奉仕の精神——これは特に大事だと思いますが——及び育成。地域社会の教訓のあり方を理解する、こういうことを基本でやっております。そんな中で美化活動となりますと、ごく自然に地域の子どもたちに

理解していただけたらと思っております。

それに伴って、やはり気になるのは挨拶問題。朝、子どもが通学する前に自分の周りだけはちょっとたばこを拾いますが、4年くらい続けて私もやっておりますが、やはりたばこの投げ捨てが非常に多い。大まかに言いますと、100メートルの道路の長さで幅が10メートルぐらいのところに平均5本から6本あります。毎月データをとってしまして、そういうのを子どもに見せたらよくないので、私はその前にたばこを拾って、それとともに子どもたちに、朝、おはようございますという挨拶運動をしております。

そんな中で美化活動、ただごみを拾うのではなく、子どもたちに見ていただくことが大事だと思いますので、これから育つ若い子ども、こういうことをやるならば幼い時分から、ごみが落ちているから自分で進んで拾うとか、そういうことをやりながらいかなければいけないんじゃないかと考えています。なかなか思うようにいきませんが、大体私の町会は、そんなことを言っただけで申し訳ないですが、非常にきれいでございます。どうかひとつ、参考になることがありましたら、また御指導いただければ大変ありがたいと思います。以上でございます。

板倉委員長　ありがとうございます。それでは、反町委員、お願いします。

反町委員　課題調査部会と運営部会とで、本当にすごくたくさんのすばらしい御意見が出たんだなと思っております。今回のテーマが、「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」ということで、意見を見ても、単にきれいにするような活動だけじゃなくて、中原区ならではの課題である地域コミュニティというところに、それを新しくつくっていくきっかけとしていくような、そういう可能性を感じる提案というのがたくさんあるなと思っております。

本日の検討に当たってのポイントの1つで、不足している視点がないかというところも書いてありますが、私も見ながら考えましたが、不足している点は浮かばなかったです。それぐらいいろんな意見を出していただいているなと感じております。

そんな中で、私はこういったすばらしい提案が出ていて、当然全部はできないので、この中から絞っていくなりまとめていくということになるかと思いますが、これがだめというのではないです。ただ、やはりこれを長く推進していくというところでは、子どもが参加できるような、巻き込んだような形ができればいいのかなと思っております。ですから、この中の取組提案のごみ分別検定とか、仕分けの達人ゲームとか、スポーツGOMI拾いとか、すごくおもしろいなと感じました。

それから、こういったことを実践するにしても、その実践の仕方、これは広報の段階からですが、やはり今の中原の子育て世代の方、あるいは若者の世代に楽しく分かりやすく伝えていくためには、インターネットとか動画をうまく活用したPRの仕方、これは常にPRのときに考えていきたいなど。これが例えば市の市政だよりとかに載せるだけではなくてということです。市のホームページに載るだけでは、市のホームページのサイトに入

ってもらわないとしようがなく、なかなか若者の方は市のホームページを見ないと思うので、それを今のやり方といいますか、若者の方にも感じて、伝わりやすいようなやり方を考えていけばいいのかなと思います。以上です。ありがとうございます。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、梶川委員、お願いします。

梶川委員 皆様がいろいろごみの問題もお話になったので、私は文化協会のほうから参加させていただいておりますので、協会では、親や祖母たちとの連携に、今、力を入れてやっております、生花、舞踊、コーラス、そういうのを年間を通じまして、親子、また祖母たちと一緒にというのでやっていて、とても今のところうまくいっている、そういうのを生かしてできたらいいなと思っております。

それから、ごみですけれども、個人的に集積所は家の近くですが、当番表をつくって、1週間全部お当番がやって、ごみの収集車が来た後は、もう済みましたとか張り紙をしっかり書いているので、このごろは独身者の方も、捨てに来てもまた戻ってくれたりしますので、以前は自分がお当番のときはしょっちゅうのぞいたりしていないといけなかったのですが、今はそんなことをやっております。以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、尾木委員、お願いいたします。

尾木委員 課題調査部会、運営部会の皆さん、本当に御苦労さまでございます。この資料を見ますと、これを実際にやっていくと5年ぐらいかかるんじゃないですか。それぐらい盛りだくさんの御議論をいただいているということです。

私も長く町会長をやっている、今まちをきれいにするということは、ごみがないまちというのは一番目に見えて確かにきれいなまちということですが、町内でごみの集積所が何箇所もあるわけです。例えば单身者が多く住んでいるようなマンションのそばの集積所は非常に散らかっている場合が多いし、それから、昔から住んでいるような方が並んでいるような集積所は比較的きれいですね。掃除も行き届いております。

だから、結果的にごみを少なくする、ごみ処理をきちんとやるということは、やっぱり地域のコミュニティ、要するに隣近所、また各階層もそうですけれども、そういう人の関わり合いが深くなればなるほど、ごみというのは少なくなるし、きれいな出し方をしているだけということなので、どうしてもごみの問題に行ってしまうけれども、むしろそれを扱う、ごみを出す人間のコミュニケーション、そういうものをどうつなげていくかということです。企業も商店もそうですし、普通の民家もそうなんでしょうけれども、そういう人々のコミュニケーションをどういうふうにしていくかということも大事な視点だろうと思います。

ですから、ごみは1つの象徴的なことですが、まちをきれいにするということは、そこに住んでいる人たちの心がまずきれいにならないと、まち全体もきれいにならないということで、この資料の取組提案の中で何個か、これもいいなというものがありますが、人をまず中心に考えて、まず区民の皆さんに、そういう意識的なものをどう植えつけ

ていくか、啓発していくかということを主に考えていただくとありがたいかなと。その議論の中に、個別にまたいろんなごみの問題も出てくるでしょうし、景観の問題も出てくるでしょうから、そういう一番もとになる人間を、人間というとおかしいですけども、住民たちの意識をどう変えていくかということを前面に出して、連携をどういうふうに深めていくかということを御検討いただくとありがたいかなと思っております。

以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。では、梅原委員お願いします。

梅原委員 この表を見ましたら、素晴らしいです。これを全部実行すると本当に問題がなくなるんじゃないかな、すごいなと見させていただきました。

その中で、実はスポーツGOMI拾いとかいろいろありますが、ボーイスカウトはこれをいつもやっています。例えばカントリー大作戦と銘打って、子どもたちが缶を集める。空き缶がたくさん落ちていますからそれを集めてくるとか、それから、ボーイ&ガールスカウト中原区協議会というのがありますが、そこでラリーをやるんです。ラリーをやるときに、昔、ドラゴンクエストというゲームがありましたが、課題があってそれをクリアしていくというような形式で区内をずっと回っていき、その課題をクリアする中に、ごみ拾いというのが入っているんです。各チームにごみ袋を渡しまして、気がついたものを拾っていくというやり方をとっています。その中で、ごみをどれだけ集めたかというのも実は得点の中に入れるということをやっています。

ただ、一番困るのは、カントリー大作戦にしろ、何にしろ、子どもたちが集めてきたごみをどうしようか、これが一番問題ですね。その問題の解決が非常に大事じゃないかなと思います。今のところは、各リーダーにそれぞれごみを持って帰ってもらって、その地区で処分していただくという形式をとっていますが、それが一番大きい問題じゃないかなということで、この中にあるスポーツGOMI拾いとか、ごみ分別とかありますけれども、実は集めたごみをどうするかということが非常に大事な1つのテーマじゃないかなと考えております。

それから、先ほど尾木委員から言われた地区の問題、私どもの地区は当番が決まっています、年間ですっと回ってくるんです。実は私が当番したときに一番困ったのは、独身者がいるアパートをどうしようかと。一応会合をやろうとしても出てこないですね。参加させる。やっぱり人なんですけれども、ただ独身者というのは一時的にいていなくなっちゃうわけです。どうしようか。ごみをきれいに分別するということを当番たちがやっていますよね。そうすると、いつも同じ人がやっているという感じになってしまいますね。これをどういうふうに解決すべきかと。

先ほど言ったように、いい人ばかりですといいんですけども、どうもそうでもない感じがちょっといたしますので、一応私どもの町内は、実は当番をやらない人はお金を出してもらおうという案が出てきております。それがいい案かどうかはわかりませんが、とい

うことは、ごみ分別作業をする人は労力を供給している、いろんな事情で参加できない人はお金を供給するというふうにしたらどうだろうかという案も出ております。でも、そうすると先ほど言ったように、心のきれいな人を育てるというのにはちょっと外れますので、それもどうかなのかなという感じがしております。以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、石川委員、お願いいたします。

石川委員 今、副委員長からいろいろな点につきまして説明いただきました。非常によくできた説明だと思って感心しております。それについて今、皆様方の意見をいろいろ聞いているわけですが、やっぱりごみということが一番中心になっているみたいですね。

私は、新城で商売をやっております、商店街です。ほとんどごみの問題というのは気になっておりません。やっぱり何人かのお母様方が中心になって、ちょっと汚れていれば必ず朝5時頃起きて掃除しています。それで、掃除し終わって、歩きにくいようなところに置いてあれば必ずその方たちが片づけます。当番なんかないんです。結構何人も早く起きておりますので、片づけて通りやすくしています。特にカラスなんかが多くいるときには、よく洗っておかないと中をひっかき回して食べられちゃうわけですね。そういうときには、必ず出した人のところに、必ず洗って出してくれるようにと注意しているようです。

それから、一番問題になるのは、我々がお店を開けるのは午前9時頃ですけれども、それ以降でも誰がということではなくて、構わないわけですが、住宅にお住まいの方でごみを出し忘れちゃったというような人が来て、商店街のごみの上にぼんと置いていきます。それならそれでもいいですけれども、そういうときには急いでいる方が案外無造作に捨てていくわけです。我々が片づければ済むので、決して大変なことではないです。そういうことをある程度、みんなが気を使っていかなければいけないと思うんです。

それからもう1つ、たばこのぼい捨ての件がありましたけれども、とんでもない話ですね。そんなものは拾う必要はないですよ。たばこなんかは捨てないようにさせなきゃいけないです。今、歩きながらたばこを吸うなんてとんでもない話ですよ。なかなか徹底できないことですが、そういうことを徹底させたほうが私はいいと思うんです。

これだけ素晴らしいことをつくり上げたということに対して驚いております。ありがとうございます。終わります。

板倉委員長 ありがとうございます。

それでは、これからはこれをつくり上げた方々の御意見をお伺いしたいと思います。できればテーマをまとめていきたいと思っていますので、そのような視点でお話しいただければと思いますが、園部委員、お願いいたします。

園部委員 私は、第1回目を所内で欠席いたしておしまして、2回目、参加させていただきました。確かに運営委員の意見も加味するとすごく広大な内容になってきますよね。それで、最終的には尾木委員がおっしゃったように心の問題かなと思いますが、その前にど

うしても順番を経なければいけないのかなと思うんです。

そんなときに、まず現状を把握するということも必要ではないかなと思いました。それで、私個人としてはアンケートで、ないしは、もう1つ自分たちで見てみるというのですか、そういうことで現状把握ができるかなと思いました。

そして、今回の課題調査部会はごみに何となく話が絞られてしまいましたので、ごみになってしまいますが、ごみの分別、出すということに対して、何はともあれ周知徹底しないことにはというのがいろいろ今回の資料にも出ているんですけれども、まず周知徹底することがごみに関しては一番必要かなと思いました。そして、例えばたばこを捨てるか、ごみ置場、集積場所をきれいにしているとか、結局はそういう周知徹底した結果の継続をしていくということで、なお周知徹底できるのではないかと思います。

何しろすごい多くの広い課題がありますので、最終的にはこれを本当に絞り込んでいかないとだめだと思うんです。数少なく絞り込んで、それを全員でというか、ある程度部会になっていますけれども、部会の中でもなお細分化して担当者を決めてやっていかないことには、とてもとても手がつけられないのではないかなと思いました。

先程周知徹底ということに関しまして、インターネットと申しましょうか、私たちはせいぜい携帯をちょっと使うぐらいしかできないんですけれども、40代とかちょっと若い方などの話を伺うと、本当によく何ごともぱっと調べて見てしまうんですよね。なので、やっぱりこれからはそれも武器かなと思いました。

最終的には、皆さんがきれいな心を持つと申しましょうか、そこへ持っていくのが最終目的、課題かなと私は思っております。ありがとうございます。

板倉委員長 ありがとうございます。塚本委員、お願いします。

塚本委員 「なかはら区民会議だより」の表紙に、私どもNPO法人小杉駅周辺エリアマネジメントの清掃活動の写真を載せていただいております。このエリマネの清掃活動は月1回やっているんですけれども、おかげさまで大分人数が増えまして、この1月から、高層マンションの真ん中にグランツリーができましたので、グランツリーの施設にも一緒に清掃活動をやりませんかと話を持ちかけて、1月から参加いただくようになって、初回でしたが25人増えて、総勢70何名で清掃活動を行いました。

やっぱり自分たちだけじゃなくて、周りの近隣の利害関係者みんなに働きかけて、みんな自分たちが暮らすまちをきれいにしようという活動をしていこうと思っていますので、課題調査部会のメンバーですが、そういった観点からも、各地域、各団体で既に行っている活動を把握した上で、その人たちがより活性化する、または共通した課題やすごくいいところを共有して、それを区として全体で取り組むことによって再アピールしていけるようにしたいなと考えています。

基本は地道な活動ですので、そういったことを住民の皆さんに広く周知したり、広報することが難しいねという話になりますが、この区民会議や区役所などの広報紙できれいに

といっても、当たり前過ぎてあまり住民の心に響かないというのが悩ましいところです。最近、ちょうど中原区内の武蔵小杉の開発が続いていまして、マスコミにも取り上げられやすいですが、今朝のNHKの番組「あさイチ」で武蔵小杉が話題として取り上げられました。取材の際に、私は、毎度マスコミには、どうしても今の武蔵小杉だとハード面に目が行き、便利だとか、安全だとかといった方向性で取り上げられてしまうんですけども、コミュニティに目を向けてほしいということをPRするんですが、そこをうまく取り上げてくれるマスコミはいいんだけど、なかなかまだそうはならないですね。

ただ、住民ということであると、自分はどういうまちに住んでいるかということは、マスコミの目を通して再確認することもありますし、武蔵小杉と出ていると新聞とか、テレビ、雑誌は見ます。そういうことを逆手にとって、マスコミに取り上げられるために奇をてらった清掃活動をするというのは間違いですけども、あくまでも地道な活動をしながらも、マスコミに取り上げられやすい何かセールスポイントみたいなものがあつたほうが、1度取り上げるとマスコミはみんな同じように取り上げますから、そういったことも意識して住民に周知していくということも必要だなと、改めて思いました。

ちなみに、私たちの清掃活動については、2月にBS放送で「ぶらり鉄道旅」という番組がありまして、そこでは清掃活動を取り上げていただきます。以上です。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、中森委員、お願いいたします。

中森委員 今、塚本委員が言っているように、確かにメディアを使うのがすごく大事ですね。今の私たちのテーマに関して、結局まちをきれいにとってしまうと、ごみが一番最初に浮かんでしまうんですね。だから、できるだけ視点を変えられる取組をしていかないとなかなか皆さんがそれについていけないんじゃないかと思っています。こういう課題の解決に関しては長い目で、長く続けていかないとなかなか成果が出ないと思っています。

まず、今問題になっているのは確かにごみですけども、それを今すぐ解決したいわけですが、解決しても次々とまた問題が起きてしまうので、その予防のための教育にもちょっと力を入れていかないといけない。そのためには、確かに子どもたちをターゲットにして、小学校の子どもたち以外に幼稚園児とか保育園にいる子どもたちに対していろいろ取り組んでいくのもいいんじゃないかと思っています。

あと、住民に関して、いろんな方たちが今中原に住み始めていて、きれいなところに住んでいると自分もきれいにしようという心を持つようになるので、周辺の、今まで住んでいる方たちの力、努力も大事じゃないかなとは思っています。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、仁上委員、お願いします。

仁上委員 みんなでまちをきれいというテーマですね。ところが、ごみというとすごくイメージが悪い、響きが悪いということですけども、私はとにかくごみ問題を取り上げたらよろしいんじゃないでしょうかと、たしか最初のほうに手を挙げた1人です。

こういう経験があります。近所に集積所があつて、私自身はほとんど気にもしなかった

ところ、決してきれいな集積所じゃなかったわけで、通りに面しているせい、ある日、朝起きてみたら大きな産業廃棄物がどんとそこに置かれていました。近所の人のごみではなくて、明らかにどこかの業者が山のように置いていった。どうしたらいいのかということからスタートしまして、まず交番に届けたり、あるいは環境事業局に連絡に行ったり。そうこうしているうちに、隣近所の人が、今まで話をしていなかった人たちがぞろぞろ出てきて、本当にひどいねというような話から、何とかしなくちゃいかんと。

結局、生活環境事業所に二、三週間後に片づけてはもらったんですけども、今までどおり汚くしているとまた同じことをやられるねということから、近所のコミュニティが自然に発生していったということで、先ほど尾木委員が言われましたけれども、コミュニティがしっかりしているところというのは、恐らく集積所がきちっとされているところがほとんどなんです。それから気になって、散歩の途中、あるいは自転車なんかで近所をまわっていると、通りすがりにいろんなところに集積所がありますが、まずほとんどがきれいです。パーセントで言えば、90%ぐらいはきちっとされているんじゃないでしょうか。ただし、残りの10%は非常に乱雑で無関心状態、カラスが食い散らかし放題というようなところが確実にあるのがやっぱり目につくわけです。そういうのが実態です。そこを何とかきれいにできないのかなというのが根底にある私の発想です。

ところが、ごみというと非常に響きが悪くて、せっかくきれいになってきたところにごみ問題というのは本当に後ろ向きかもしれませんけれども、少し残っている汚いところをきれいにしたらよろしいじゃないでしょうか。その方法というのは、まず町内会、町内会でもきれいな町内会が恐らくあるはずですよ。だけれども、その町内会の中に1、2か所、汚いところがある。そのコミュニティはどうなっているのか、近所同士のつき合いはどうなっているのかということから掘り下げていくと、自然とごみ問題から、あるいはコミュニケーションがとれて、いずれは防災関連なんかでも役に立つようなまちづくりができていくんじゃないだろうか、そのような気がするわけです。

もう1つ、先ほどもお話が出ましたが、アパートは、そこにきちとしたごみ箱があれば別ですけども、ないところはアパートの単身者が全く無関心で集積所に放り込んでいく。というのは、まずそういう案内というのは見ないと思います。そこに対して一生懸命、隣近所、町内の人たちがお話をしても、入れかわりが激しいから新しく来た人がまた平気で捨てていくという繰り返しだと思います。

だったら、私は提案しましたが、不動産業者に、入るときにどういう説明をしていますかというアンケートを出してもいいのではないだろうか。あるいは、ここで決めたんですけども、新しく入居する、妻帯者だったらいいでしょうけれども、単身者に対してはきちっとその地区の分別日、収集日をしっかりと教えるべきでしょうと不動産業界に呼びかけていくことも1つの方法だと思います。そうしてまちの中が、ほとんどきれいなところが、99%ぐらいきれいになっていけば、恐らく中原区は集積所がきれいですねと言われ

と思います。恐らく中原区の現状というのは、隣の区でも同じような状態じゃないでしょうか。

私がたまたま住んでいるところが、中原区と幸区が接したようなところにありますが、幸区のほうにも汚いところがございますよね。そういったところで何かを捉えて、中原区の集積所、あるいはごみ捨場というのは、本当にルールが守られたきれいな集積所だと誇れるまちといえますか、ごみというすごくイメージが悪いかもしれませんが、そういったことからみんなできれいにしましょうと。

ごみというのは、本当に人間が生きていく以上、誰しもの出すものですから、全てに関わると思うんです。生まれたときから既にごみは発生しているはずですから。そういう全ての人に捉えることができるテーマではないかということを思った次第です。

尾木委員 ちょっと関連でいいですか。私、不動産業者ですけども、当社の場合、売買、賃貸問わず、必ず契約のときには、中原区のこの場所についてはこれが収集日ですよという生活環境事業所のパンフレットがありますが、必ずお渡しして、守ってくださいという説明はしております。これは中原の川崎中支部というところが統括していますが、恐らく支部でもそういう指導をしていると思います。それでも守らない人が出てきますが、不動産業者としては一応そういう規定でやるようになっていると思いますので、御参考までに。

萩原委員 課題調査部会と運営部会、両方出席させていただいていますが、ちょうどこの区民会議の存在意義というか、地域コミュニティを結んでいって、何とかすてきなまちにしようというのには本当にぴったりなテーマだと思いますので、ぜひアンケート、ここに書いてあるだけじゃなくて、先ほどの子どもたちも巻き込んでということを考えれば、学校や幼稚園、保育園までアンケートの幅を広げて、もしその中で美化活動に何かしら取り組んでいるよというところがあれば、またそこも中に入れてもいいのかなと思います。そのアンケートを通じて、本当に何十年も地道に取り組んでいらっしゃるところがたくさんあると思いますので、それを私たちも知らず、意外なこういうやり方があれば効果があるよということが分かるのはすごく勉強になるんじゃないかと思いますし、それが最終的には冊子になってくると、いろいろお互いに、まちをきれいにするために自分たちは何ができるかということの提案にもなり、すばらしい成果になるかなとも思っております。

できたら、地道な取組をしていらっしゃるところに、何かしら区民会議でアワードといいますか、ちょっと表彰みたいなのをさせていただければいいでしょうか。そのイベントを兼ねて、本当に子どもたちも楽しんで来られるような、さっきのスポーツGOMI拾いをやってもいいでしょうし、川崎純情小町☆さんとか、といった方々に来ていただいてもいいですし、簡単なちょっとおもしろいフォーラム、あるいはごみの分別にかけて、仕分けの達人じゃないですが技を披露するとか、楽しいイベントを最後に持ってきて、そこで皆さんが個人でも取り組み、団体でも取り組めて、さらに参考になる冊子に最終的にまと

めることができたらすばらしいのではないかと思います。

住みたいまちナンバーワンと言われるようになってきたので、本当に区長さんもいつも言っていっぱいいますけれども、住んでいてよかったと言える、こんなきれいなまちだと言える、誇れるまちにするために、区民会議が提案してそれだけのことができるのにはすばらしい機会じゃないかなと思っていますので、この中の少しでも先に進めていきたいなと思っています。

板倉委員長 ありがとうございます。松本さん、お願いします。

松本委員 川崎市は人口が増えております。特に中原区は増えております。住んでみたいまち、それから住んでよかったまち、それで住み続けたいまち。住んでみたいというのは1つの好奇心からですが、その中身だと思うんです。住んでみたい、ずっと住み続けられるまちということで、私も出身が中原区ではありませんが、40年前にこちらに住んで、それから、住んでみた人たちで自分たちのまちは自分たちでつくっていきこうという形になるには期間がかかると思います。

実際のところ、中原区は、工場の跡地、それからグラウンドの跡地に大型マンションが連立しておりますが、それ以前には、まず工場の社宅というのが老朽化してきて、社宅の時代ではないので企業がそれを売却して、そこにマンションが建つというのが十四、五年ぐらい前から始まったわけです。それから、確かに井田の地区にも企業の社宅がありまして、名前を出していいかわかりませんが、大手の生命保険会社や製造業など、社宅の跡にマンションが建ちました。マンションを購入される方は非常に若い世代の方です。だから、また町会でもそういう方を取り込んで、一緒に、今は大型マンションですが、その小型化みたいなのが十二、三年前から始まったわけです。そうすると、住んでみたいまち、住み続けるまちということで、十四、五年たっておりますけれども、そのときに私が考えたのは、中原区にきた方は、土地の人間は確かに農家の方とかいいますが、一緒に融合した形で何ができるかということについては、地域のコミュニティなんです。

安心・安全のまちをつくるのには地域の顔見知りになるとか、きずなをつくるのには、中ではいろいろな町内活動もございます、その中でどのように関わることができるか。確かに先ほども話がありました心の問題もあります。非常に小さなことでも継続をすることで、継続は力なりといいますが、自分たちのまちは自分たちでと、マンションの方も必ず毎月、公園の清掃とか、地域の清掃とか一緒に活動することで少しずつ町内の役員にもなっていただき、子ども会とか婦人部とか、各役員もそのマンションに住まわれている方とか、一緒に身近で自分たちのまちは自分たちでつくっていきましょうというのをこつこつとやるには、やはり月日がかかります。十二、三年かかっておりまして、そういう形でやっていけば、また何か別の問題が生じてきたら、町会にまちづくり委員会というのをつくって、その中でいろいろな行事、緑化のことなどいろいろやっていく。

あくまでも地域コミュニティというのは、なかはら20年構想委員会のパンジー回廊も萩

原委員が関わっていらっしゃると思いますが、公園をきれいにするとか、1つのテーマでいろいろなことが関係してくると思うんです。ごみの問題の底辺にあるのは、あくまでもお互いの助け合い、きずな、顔見知りになるということで、いざというときに、公園でフリーマーケットをやるとかいろいろなことをやる時に力になってもらえるわけです。我々が年を重ねてきて、次の世代に渡すにしても、そういう基礎がないとなかなかつながっていかないわけです。それを根気よく地道にやっていくことが必要だと思いまして、「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」ということで提案したわけです。人との継続したつながりをもってやっていきたいということが、私の考え方です。以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。それでは、ふだんなかなか発言できないので、成田副委員長からも、何か一言、今までの皆さんの御意見の中で、お願いいたします。

成田副委員長 皆様、本当にいろいろな御意見をいただきましてありがとうございます。ここである程度まとめられればよいですわけで、なかなか頭の中で整理が付きませんが、もともとの区民会議の趣旨としまして、人口流入がどんどん今進んでいる状態の中原区の中で、どうしても武蔵小杉周辺に特化されてしまいがちですが、新しいコミュニティと、以前からあるコミュニティとの間のコミュニティ格差というのがどうしても視野に入ってくるということと、そこをどういうふうに皆さんが同じ価値観とか目的を持って交流し合うかということに関して、先ほど尾木委員ほか皆様から御発言がありましたけれども、やはり何か1つ、人間性を高めていくソフトウェアの部分で、中原区というものがみんなで活性化した豊かなまちづくりをしようという、そのテーマは外せないなという感じがしました。

特にそれに関して、じゃ、実際にどうするか、それはまずきれいにというキーワードを使って解決していこうということで、それにはやはり課題についての洗い出しがまず必要ということで、現状の課題を広く区民の皆様知っていただく、そして承知していただく。そのためには数値化したり、それから視覚化したりする作業が必要ということで、アンケートという形を通じて、いいものも悪いものも、できるだけ単純でわかりやすい形で目に触れていただくことが一番かなと考えました。

それを情報発信していくときも、紙媒体だけではなく、人口比率でいいますと、若年人口がどんどん増えるということで、従来の広報の仕方から、先ほども何名かの方がおっしゃられましたように、やはりインターネット等新しい媒体を使った発信の方法というのも組み入れなければいけないかなという思いがしております。

さらに、時代を担っていく子どもたちという点で、若い世代に環境教育を通じて、ごみも含めまして、まちを美しくする、人間性を豊かにするためにはどうしたらいいかという啓発の部分で、楽しみながら日常の生活を通じて子どもたちに習得していただきたい。そのためには、子どもたちを通じて、さらにそれを家庭や地域に持ち帰っていただいて、次につなげていただける、それが今本当に活力ある若い人たちがどんどん入ってくる中原区

でできることではないかと思っております。

そういった点を踏まえまして、さらに今後の課題調査部会で絞り込んでいくわけですが、また皆さんと議論して、深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

板倉委員長 ありがとうございます。では、槁本副委員長、お願いします。

槁本副委員長 課題調査部会で、深まっていたごみ問題に特化していたということで、きょうはできるだけ、もう少し幅広く意見をとお願いしたつもりだったわけですが、やはりまちをきれいにイコールごみというようなことに特化しがちな部分があったのかなと思います。

ただ、ただいま皆さんから発言いただいた中には、それぞれいろんな広い視野で物事を捉えていただいた方もございますので、やはり地域コミュニティづくりであるとか、多くの世代を超えた参加であるとか、そういった形で最終的にまちをきれいにしていくというようなことを基本にしながら、課題調査部会には、次回また負担をかけるわけですが、取りまとめ等、もう1度いろいろ議論を詰めていただいて、幅広い人たちが参加できるような形のものをつくり上げていただければと期待しております。

板倉委員長 ありがとうございます。先ほど現状の把握とか、自分たちで見てみる、体験するという話があったんですが、まちづくり推進委員会というところが、実は落書きの数を全部チェックしてあります。現在中原区で大体850か所ございます。ただ、東電の電柱だとか配電盤、J Rの陸橋、そういうところ書いてあるものは所有権のことがあるので簡単には消せません。そういうこともいつの間にか勉強するという姿です。1度皆さんに見ていただくか、参加して体験していただければどうかという話もあります。2月の中旬ごろ、皆さんの参加の状況によって、落書きの場所を選んで進めてみたいと思っております。事務局から改めて御案内をさせていただきます。

それでは、時間の都合もございまして、ここまでとさせていただきます。多くの御意見をいただきましたので、本日の意見を踏まえまして、今後の課題調査部会で審議していきたいと思っております。

それと、今後の事務局との調整については、一任いただきたいと思います。御了承いただけますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

板倉委員長 それではそうさせていただきます。

4 その他

板倉委員長 それでは次に、第5期の区民会議スケジュールについて、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 それでは、今後のスケジュールについて御説明をさせていただきますので、資料

4を御覧いただきたいと思います。

本日、第3回区民会議を開催しておりますけれども、この後、2月2日に第3回の課題調査部会を予定してございます。本日いただいた御意見、アイデア等をこの第3回課題調査部会の参考にさせていただきながら、課題のテーマといいましょうか、解決策の絞り込みに進めていきたいと考えております。その後、2月19日に第3回運営部会を予定してございます。その上で、第4回区民会議を3月中旬に予定してございまして、そこで中間報告という形をとりたいと思います。第4回区民会議の終了後、4月上旬頃になろうかと思いますが、中間報告ということで区長に報告をします。

その後、第4回課題調査部会を5月上旬に予定しております。ここで、先ほど御案内させていただきましたアンケート調査の結果等も出てくると思いますので、その検討、それから解決策の最終確認をしていきたいと思っております。

その後、第4回運営部会を5月下旬ないし6月上旬に予定しております。第5回区民会議が6月下旬から7月上旬ですけれども、ここで最終的に1つ目のテーマについて取組事項を決定していくということになります。また、あわせて、2つ目のテーマを、この区民会議で皆さんから御意見をいただいて検討していきたいと考えているところでございます。それ以降につきましては、記載のとおりでございます。こちらからは以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。そのほか事務局からお願いいたします。

事務局 それでは、本日、幾つか添付させていただいている参考資料につきまして、簡単に御説明させていただきたいと存じます。

まず、参考資料3になります。区民会議交流会への出席についてという御案内の資料を御確認いただければと思います。以前より、川崎市全7区の各区の区民会議委員がお集まりいただいて、それぞれ交流を深めていただくという趣旨を持って開催するということは御案内させていただいているところでございます。いよいよ2月9日月曜日に、エポックなかはらの7階において開催するというので、日程も近づいてまいりましたので、改めて御案内させていただいているところでございます。

また、今は参考資料という形でおつけしております。正式な通知につきましては、また改めて送付させていただきたいと思っております。本日は、御案内資料として御覧いただければと存じます。皆様におかれましては、自己紹介シートの作成等、御協力いただきましてありがとうございます。

まず、2月9日午後6時から、エポックなかはらで開催させていただくということで、概要につきましては、1枚目の裏になりますけれども、タイムテーブルがございます。6時から開始いたしまして、市長の講演・質疑応答がございまして、そのほか7区の区民会議委員の意見交換ということで、今年度は「幅広い世代が区民会議に関わってもらうには」をテーマに、7区の区民会議の委員が入りまじった形で、それぞれ幾つかテーブルを

つくって、ふだんなかなか顔の会わせることのない他区の区民会議委員の方と意見交換をしていただくというようなことで進めていきたいと考えているところでございます。また、こちらにつきましても正式な通知を送らせていただきますので、よろしくお願いしたいと思います。

次に、参考資料4になりますけれども、平成26年度第1回かわさき市民アンケート概要版でございまして、このアンケートにつきましては、川崎市がそれぞれ市政の参考とさせていただくために行っているものになります。今年度分につきましては、区民会議についてテーマの1つとしてアンケートを行っておりますので、その結果が概要版として届いておりますので、本日はつけさせていただいているところでございます。

区民会議の内容につきましては、この中の6ページ、7ページに掲載しております。6ページの3、区民会議についてということから始まっておりまして、区民会議の認知状況からアンケート項目を載せているところでございます。全体では、こちらに書いてございますとおり、「内容まで知っている」と「あることは知っている」を合わせまして大体4分の1程度の方に認知いただいているということが結果として出ております。それぞれの区ごとにも出ておりまして、中原区におきましては、「内容まで知っている」というのが1.0%、「あることは知っている」という方が24.5%ということで、合計すると25.5%の方に認知いただいているということが、今回のアンケート結果で出てございます。

また、7ページでは、区民会議で取り上げてほしい地域の課題であったり、今後区民会議に期待していることが項目として掲載されておりますので、後ほど御参照いただければと存じます。

続きまして、参考資料5でございしますが、「なかはら区民会議だより」の23号でございまして、既に皆様のところにお届けしているものになります。先ほど塚本委員からもお話がございましたとおり、表紙にはNPO法人小杉駅周辺エリアマネジメントの早朝清掃活動の様子を載せているものになっております。中面については、10月に行われた第2回の区民会議の開催概要を載せているものになりますので、改めて皆様のところへ参考資料としてお持ちしております。資料については以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございました。何か質問等ございますか。

なければ、続きまして、お手元の「すべての女性が輝く社会づくり」というチラシにしまして、萩原委員から御説明をお願いいたします。

萩原委員 資料につけていただいたので説明させていただきます。

私、この会議には、川崎中原工場協会の代表として出させていただいております、そもそも中原工場協会って何だろうという話ですけども、今、中原区を中心として280社の経営者が集まった会議がございまして。中原区だけじゃなくて、川崎全体のところも入っているかと思いますが、昭和23年10月設立なので67年目かなと思います。それで、一般社団法人でございまして、本当に活発に活躍している方が多く、昨年度の4月

に内閣府から認定を受けまして、地域女性活躍推進委員会というのが設立されました。私も含めて13人のメンバーで委員をさせていただいているんですけども、一応予算もつきまして、女性のキャリアアップ研修会とか事業主へのセミナー、コンサルティングとか、アンケート調査とか、いろんな活動をしております。その集大成といいますか、今度2月20日金曜日ですけども、川崎駅前の商工会議所の新しいビル、K C C I ホールの2階で、「すべての女性が輝く社会づくり～地域女性活躍推進大会～」を催しますので、このチラシを入れさせていただきました。

武蔵小杉の駅長さんは、今、女性のきれいな方なのは御存じでしょうか。柳澤美香さんとおっしゃいます。あと、N T T 東日本の川崎支店長の山貫さん、川崎信用金庫の秘書室長ですけども、登戸の支店長や本店営業次長も経験されて、今、秘書室長の大森さん、それから当委員会の委員長をやっていただいているスタックスの星野さんのリレートークもございますし、その後いろんなお話もあるわけですけども、ぜひここに皆さん参加していただきたいと思ひまして、この裏に参加申込書がございます。有意義な会ではないかと思ひます。いろんな意味で、企業だけじゃなく、本当に地域で女性が生き生きと暮らせるようにみんなで考えていきたい、また企業もそういうのを応援したいなど、行政からの応援も入っておりますので、これをぜひ皆さん、参加してもいいなと思ひましたら広めていただければと思ひます。どうもありがとうございます。

板倉委員長 どうもありがとうございました。企業側からの御協力もいただけるようなので、大いにきれいなまちづくりというところに進めていきたいと思ひています。

以上で本日予定しておりました議事は全て終わりました。皆様から何かございますか。

それでは、区民会議参与の皆様、一言ずつお気づきの点、助言などをお願いしたいと思ひております。

大庭参与 皆さん、お疲れさまでございました。きょうのテーマも、本当に興味深くお話を伺いました。先ほどもお話がありましたけれども、けさのNHKの番組「あさイチ」を見ていましたら、小杉がテーマになっていまして、タレントの方とアナウンサーが登場して、小杉駅をおりたときに、きれいなまちですねという一言もあったんですね。まちが整備されて、きれいだなという印象を持ったかと思うんですが、住んでいる皆さんからすると、ちょっとその範囲を、少し路地を入れれば、やはり町内会の皆さん方がごみの問題などで本当に苦労しているという声も一方ですごく聞くということで、これは一緒に考えて、きれいだなというだけに終わらせない取組というのが必要ではないかと思ひます。

そういう意味で、本日ここで出されておりましたアンケート、これが本当に大事だなと思ひました。実態をつかむという、やっぱり町内会ごとに違うと思ひます。商店街に近くなってくると、駅に近くなると、単身者の方などは自分の集積場所ではなくて、通勤途中のところにゴミを捨てていくということで、ゴミがあふれるという声も実は聞いておりますし、商店街のところで、新城の商店街のところはすごく地域の方が掃除してくれるとい

うお話がありましたけれども、違うところではネズミの問題とか公衆衛生上の問題のお話を聞くわけで、地域ごとに町内会のあり方なども違いますし、ひとり暮らしの高齢者もいるということでいえば、なかなか分別の理解が大変な方もいらっしゃるわけです。それをあの人はというふうに見る見方というの、ちゃんと正しく見ていかなければいけないと思いますので、そういう意味でアンケート調査は大事だなと思いました。

それと、本日のNHKの番組「あさイチ」で人形劇のひとみ座のことが出されていたんです。そのときは、歯の予防週間のことだったんですけれども、きょうこれを見ましたらそういう議論もされているということで、やっぱり子どもたちと、またお年寄りも、人形劇を使いながら理解してもらって、私も時間が許す限り見ただけなんですけれども、フロンターレやひとみ座の皆さんの負担が大きいんじゃないかというのがありましたので、一方で、映像を流してそのところはカバーするだとか、そんな取組なんかも大いにやるといいのかなと思いました。

それで、やはり予算が伴う問題でもあるので、これは私たちが皆さんの御意見を聞きながら、道路整備というのにも必要だと思うんです。生活道路がきれいになれば、ごみを捨てるという雰囲気もなくしていくという機運もつくっていかなくてはいけないということで、きょうは道路公園センターの鈴木所長もいらっしゃるので、本当に道路のあれというのがすごく中原区もふえているように思うんです。予算が削られているという点では、しっかりこの辺のところも取り組んでいきたいなと思っております。

きょうは貴重な御意見を本当にありがとうございました。

板倉委員長 ありがとうございました。それでは、松川参与、お願いいたします。

松川参与 前の会が随分長引きまして、遅参いたしましたこととお詫び申し上げたいと思っております。お話をお伺いできませんでしたので、きょうの資料、また摘録等をしっかり拝見させていただきながら、次回またコメントさせていただきたいと思います。

ありがとうございました。

板倉委員長 ありがとうございました。ただいまの参与の御意見につきましては、今後の区民会議の運営の参考にさせていただきたいと思います。

事務局はさらに何かございますか。

事務局 次回、第4回の区民会議について、少し日程の御連絡をさせていただきたいと存じます。先ほど資料4の説明のところでも触れさせていただいておりますけれども、次回、第4回の区民会議につきましては、3月中旬、18日（水）、19日（木）、20（金）、23（月）のいずれかの日の午後の開催を考えているところでございます。また、日程につきましては調整して御連絡させていただきたいと思いますが、もし御都合の悪い日がありましたら、本日の会議終了後に事務局までお申し出いただければと存じますので、よろしくをお願いします。

以上でございます。

5 閉会

板倉委員長 どうもありがとうございました。皆様に御協力いただきまして、円滑な議事を進めることができました。副委員長とともに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

以上をもちまして、第3回中原区民会議を閉会といたします。どうもおつかれさまでした。

午後3時53分 閉 会